



## 平成23年度事業報告

## ◎国内事業

## 東日本大震災支援活動

- ・海老名市を通し福島県へ義援金
- ・4市2町へ義援金
- ・平塚市に避難されている方への支援
- ・平塚市を通し被災地へ支援物資
- ・石巻市避難所(住吉中)へ訪問・支援
- ・牡鹿半島避難所(めぐろ荘)への訪問・支援
- ・石巻市仮設桜畑団地へ毛布・ズボン等支援活動に必要な支援金の確保

「ボランティア便り」の発行・配布年4回

## ◎ネパール事業

- ・エル・エンジェル校運営継続・給食支給継続  
技術競技大会
- ・ゴルメスワリー校運営協力継続  
ミルク、肝油の配給・医療ケア  
カトマンズ市内の修学旅行
- ・ドリケル校支援継続

## ◎インド事業

- ・孤児院エル・エンジェルチャイルドホームの運営継続

皆様のご協力のお蔭で上記の事業を計画通り行うことが出来ました。

心より感謝申し上げます。

3月を年度末にしておりますので、収支報告は次号(6月頃)にてご報告させていただきます。

真性は愛の姿を持って、人の内に存在します。この愛の具現は自身を平安へ導きます。

新しい年を迎え、今年が平和で幸せ多い年でありませうお祈り申し上げます。昨年3月11日、東北地方を中心にツナミ・大地震と未曾有の大震災にみまわれ震撼させられた中、たくさんの方からご支援を賜りまして感謝申し上げます。暑いにつけ、寒いにつけ被災地の方々のことを案じない日はなく、もつともつとお役にたいたい、思いを募らせて参りました。その思いは今も変わらず、今後も被災地の方々のお声にこたえるべく一層の努力をいたす所存です。そんな状況の中ながら、約束したインドの孤児支援や、私たちの支援を心待ちにしているネパールの子供たちへの支援を絶つ事もできなく、昨年は何れも心の中、ネパールへの訪問を決断した次第です。このたびの訪問で、「継続は力なり」インド・ネパールの子供たちからその言葉を実感させてもらっています。被災地から、一日でも早い復興の喜びのお声が聞こえてくることを切に願ひ、支援を続けさせていただきます。今後とも、ご理解・ご支援を賜りますよう、今年もよろしくお願い申し上げます。

## 迎春

## 東日本大震災

## お届け出来た冬の支援

私達の心はいつも東北の震災へ向いています。何かお手伝い出来ることはないかとずっと考えていました。なかなか良い考えがないまま冬を迎え、雪に慣れない私達が車で行くことは難しくなりました。

被災地訪問の折伺わせて頂いた石巻市牡鹿半島民宿「めぐろ荘」に連絡を取らせて頂きました。大広間に避難されていた方々も仮設住宅に移られたとのことです。当地での桜畑仮設住宅は約一〇世帯・一世帯二人の方が多いとの情報も頂きました。何かお手伝いしたいとの思いを伝えたところ、遠慮がちに暖かい毛布をとの申し出があり、十二月ご要望の品と私達の思いを送らせて頂きました。

毛布二枚合わせ 一二〇枚  
イージーズボン 一一〇本  
手作りジャム 六〇パック  
おもち 二八〇kg・醤油 一二〇本  
おまんじゅう 三〇個入二三〇箱  
毛糸 三〇玉・鉤針

「皆様、嬉しそうに品物を受け取られ、おまんじゅうをほおばりながら仮設住宅に帰られました」とのご報告を頂きました。めぐろ荘のおかみさんには仮設の方と私達のパイプ役になって下さり大変お世話になりました。ありがとうございます。皆様の善意が生かされ、少しでも被災者の方のお力になれたことを感謝申し上げます。

早速に牡鹿半島桜畑仮設住宅の方よりお礼のお葉書きをいただきました

今回はいろいろと物資をありがたうございました。お正月には暖かく過ごすことができました。

これもひとえに皆様のお蔭です。支援を無駄にしないで復興に向けて頑張りたいと思います。

本当にありがとうございます。風邪などひきませないようにお祈りします。

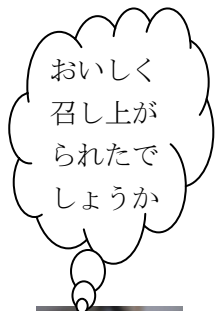


原文・仮設桜畑団地

M・H様

### 石巻からのお便り

石巻のT・H様におもちを送らせて頂きました。嬉しいことに年賀状を頂きました。年賀状の文に、おもちは避難所にいた方にも分けさせていたいただきましたと書かれていました。つらい年であったでしょうにお年を召された身体でのりきられ、気丈に明るく振る舞われているお姿を見させて頂いています。今年が良い年になりますようにと願わずにはいられません。平安な年でありますように！



### ゴルメスワリー校

十一月訪問 (ネパール)

#### 澄んだ瞳の出迎え

ナヤガン村ゴルメスワリー校、子ども達が笑顔で出迎えて、はずかしそうに・・・照れながら、私たち一人一人にきれいな花のレイをかけてくれました。多くの村人たちもいます。毎年の出迎え光景なのですが、その都度、子ども達の澄んだ瞳の出迎えに感動します。

そして髪はボサボサ、顔も制服も汚れて・・・破れてもそのまま・・・裸足の子も達を見て、今もって変わらない山間部のネパールの現実を痛感します。

#### アルコールからの脱出

父親が働くことをせずお酒ばかり飲み、母親の日雇いの賃金に頼っての家族4人の生活でした。当協会はこれ迄手術費用のみならず食糧のことにも困っている家族の為、毎月お米と豆を届けて来ました。遠く日本の多くのみなさまからの支援で助かった命の尊さ、継続された支援に父親は感謝の気持ちに目覚めたでしょう。娘をじっと見つめるお父さんの眼差しと、私たちを出迎えるために椅子を拭いたりかいがいしく動き、感謝の気持ちを表して働いている姿

に感動しました。父親の意識改革によりこの家族が普通の生活に戻れることを願ってやみません。

#### 涙と感動！

#### あの手術の子が！

出迎えのセレモニーで、「歓迎の踊り」を踊ってくれた生徒を見て、一同ビックリ！歓声をあげました。そこには2年前当協会の医療ケアで脊椎カリエス手術を受けて成功し、今、毎日通学している4年生になったあの女の子が、コルセットを着け、民族衣装を着て踊っているではありませんか。

皆に見守られ緊張して踊っているのが伝わってきました。歓声とともに涙がこみ上げて・・・心の中で感謝しました。こんな日が来るなんて誰が想像したでしょうか。昨年は熱を出して、お母さんに抱かされていた姿が記憶にあっただけに、ことさら嬉しく思いました。私たちの活動に感謝し、元気な姿を見て欲しいと願ってくださった先生の配慮に・・・そして多くの村人たちの温かい見守りの心に・・・胸が熱くなりました。

あの時、天の声に耳を傾けられ「少女の病気を治してあげたい」と思われた皆様のおこころのお蔭でございます。身長も伸び、十二月もう一度背中のコルセットを取り替え、これ

で治療は完了です。今後は、病気で遅れた勉強が取り戻せる日が一日でも早くくることを願っています。



左側の女の子です

★ヒマラヤ連邦が250度にみわたされる天空の村、ナヤガン村の青い空に向かって問いかけてみました。少女と出会ったあの時「さあ、どうする私の愛するものたち」と呼びかけられたあの方に「これでよかったですでしょうか？」と。ご加護あつたのことで手を合わせました。応えはただだけませんでした。あとは反省いたすばかりです。そしてご支援くださった皆様方にも手を合わせています。「尊いお心をいただきました。ありがとうございます」

#### お土産に向かつて

ヨイドン

今年は、日本の震災の事を思い、お土産にはお金をかけず本の付録等

を活用させて頂きました。渡す時に、喜んで袋まで走って行って見つけてもらいました。幼児はやり方と数字がわからず、ボランテイアさんが教えていましたが、年齢が上がると意味も理解して自分の番号を目指し一目散にかけよりうれしそうに笑顔で抱えて、その笑顔を見て私たちも笑顔になりました。

5年生には修学旅行の準備としてジヤージ上下・ブラウス・シヨルダーバック・サンダル等も手渡しました。

## 修学旅行 (2回目)

(ゴルメスワリー校)

5年生17名と一緒にカトマンズ市内観光をしました。バスの窓から外を今年の生徒たちも食い入るように見つめていました。見るもの全てが驚きだったでしょう。

サル寺を訪れました。1度回転させる何回もお経を唱えたことになりマニ車を回転させながら大きな寺院を参拝しました。背の届かない小さな子はボランテイアさんが抱きかかえてあげて・・・その嬉しそうな顔。とっても信心深く、真剣に拝んでいました。寺院から見えるカトマンズの景色にビックリ！こんなにたくさん建物を一度に見たのは初めてだからでしょう。

バスの席を子ども同士座らせてあげると緊張していた子ども達も少しづつリラックスし始め、日本からも

ってきたおやつを配ると嬉しそうにすぐ食べる子、大切にそっとバックにしまう子・・・いろいろな様子。お土産にするのでしょうか。

レストランでの昼食はバイキング。生まれ初めて、山のように盛ったご馳走にご機嫌の笑顔、その山もすぐに消え、お代わりもまた山のようになくさん食べた後は、これまた初めてのアイスクリーム。おそろおそろ舐めている姿がまた可愛くてかわいくて・・・私たちも胸がいっぱいになりました。バック・ポーチ等の品々を袋に入れてお土産のくじ引きもしました。



サル寺で はい、チーズ

ショッピングセンターではエスカレーターとエレベーターに初挑戦！外が見えるエレベーターはまるで遊園地のアトラクション気分、怖がる子もいましたが、何度も何度も乗って楽しんでいました。

渡したおこずかいを手に、お菓子屋さんへお土産を買いに行きました。なかなかお金を使おうとしない子ども

も・・・幼いながらも多分お母さんを喜ばせようとする心を思うと胸が熱くなりました。

笑顔で別れを告げ手を振り続ける子ども達、私たちもバスが見えなくなるまで手を振りました。たった一日の交流でしたが子供たちの優しさや素直さにとっても名残惜しく、この子達の将来が幸せでありますように、そう願ってやみませんでした。

## ドリケル校 (ネパール)

### 有効に使われている図書室

二年前に完成した図書室 (SET SUKOLIBRARY) にはネパールの本が増えています。より多くの本を読むことで世界が広がり、心豊かに育っていくことを願います。生徒たちが手作りしたノートが並べられ、ノートをめくると色鉛筆で色彩豊かに、家や花の絵が描かれたり、またアルファベットの文字がぎっしり書かれていて、絵を描く楽しさや英語を学ぶ意欲が伝わってきました。図書室が有効に使われていて嬉しく思いました。故人SET SUKOLIBRARYも天国より見守って下さっていることでしょう。

### 明るい教室

昨年完成したクリーム色の二階建ての校舎は丘の上に建てられていておりしも夕陽に映えとてもきれいでした。教室は、むしろや薄いカーペ

ットが敷かれた床の上に座布団が並べられ、教室のうしろには新しい机と椅子が置かれて、窓が広く明るい教室になっていました。用途に応じた教室内が楽しくアレンジされていて嬉しく思いました。室内の壁には学習した英語の単語が貼られて楽しく学んでいる様子でした。



おみやげ、待ってたの!

### 素朴な子供たち

今年も日本人ボランテイアが来たという事で村の多くの人たちが集まってきました。この地域は貧村とてどの子も薄いボロボロのシャツにちぎれかかったサンダルや裸足の身なりで鼻を垂らして寒そうでした。狭い校庭は大賑わいで、子ども達一人ひとりにプレゼントを手渡ししました。ぬいぐるみ、バッグのほかにパン、ビスケット等々を手渡された子ども達は目を輝かせて喜んでくれました。お腹をすかせている子どもはパンをもらおうとすぐに頬張って、夢中で食べていました。ネパールの大自然のなかで育った子ども達も素朴さに心なごまされました。



## 孤児院便り

### 手作りジャムの温かさ

昨年12月、広島のM様より被災地の方へと手作りの袖ジャムと、もろみジャムをきれいに60パックに詰めて送られてきました。袖ジャムはとろみ加減がたいへんですのに、すばらしい出来で、すぐ被災地に電話をし、意向をお尋ねし、牡鹿半島ケント地区の方々に送らせていただきました。「手作りのジャムを送っていただき感激しています。心まで温かくなりました。ありがとうございます」とのお礼の言葉をいただき、仮設住宅にお住いの方々のお手元にお届け出来た喜びとM様の温かいお心に感謝を深めております。何かお役に立ちたいと常に思われていてこそその発想であり、ジャムと存じます。

♪ 今、何が出来るのか自分で考えよう♪エル・エンジェル  
のボランティアの歌が風に乗ってどこからか聞こえて来たようなそんな気がいたしています。

### 祈りとともに

#### (インド・ビシャカパトナム)

私たちの愛する子供たちが生活しているチャイルドホームでは毎朝登校前職員とともに子供たち全員で設置してある神々の像の前で神をたたえる歌とともに祈りをささげます。(建設時、祈りの部屋をと、作られた部屋です)

「神の存在を常に意識し、祈りを捧げ、神とともに生きる」

孤児という立場上、孤独に陥り易い心にか支えとなつていくことでしょうか。そして優しい心を培つてくれています。昨年の3月におきた大地震・ツナミのテレビを観、その悲惨さを知るやすぐ祈りの部屋に全員で入り「日本のお父さん・お母さんが無事でありますように！」と一生懸命祈ってくれたそうです。その後も、被災された方たちへの祈りを続けてくれているとのこと。インドには、シバ神・ビシュヌ神・ラーマ神・サラスワティ神・クリシュナ神等々、古来からたくさんのお神々が信仰の対象として存在します。子供たちは、各々の信じる神に向かってこれからも祈りを続けていくことでしよう。祈りの中から生まれてくる勉強への期待・・・いよいよ、ひたすら子供たちの幸せを祈りたく存じます。

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

- 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
記号 10290 口座番号 68107191  
ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719  
三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会  
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597

## お知らせ

ボランティアで石巻市牡鹿半島に伺いたいと思っております。

日時 4月11日・12日(二泊二日)

集合 海老名

参加費 2万円

ワゴン車を運転して下さる方を募集しています。

参加希望の方は、海老名本部まで3月20日までにお申し込み下さい。

皆様のご参加をお待ちしております。

## 支える会

バザーの日程

日時 5月5日(土) 8時30分より

場所 ぼつぼ町田

新品・手作り品・アクセサリ・くじの景品等のご寄付をお願い致します。当日の販売ボランティアさんも募集しております。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

## 編集後記

昨年は日本中が世界中の人々が東北にめぐりげになりました。深い悲しみの中で明日に向かって未来に向かって生きようとしている力強い息吹を感じます。それでも問題は山積みです。



皆様の心にある優しさ、力が発揮される年でありますように。

(S・I)